

主な出来事

【内政】

●6月2日、アンゴラ政府は燃料補助金の段階的撤廃を決定。翌日よりガソリン価格が160Kz/Lから300Kz/Lに上昇。6月17日には、燃料補助金の段階的撤廃に伴う抗議デモが国内各地で発生。

●6月8日、マヌエル・ジョゼ・ヌネス・ジュニオル大統領府経済調整担当大臣を解任し、後任としてジョゼ・デ・リマ・マサーノ中央銀行総裁を据える方針を決定し、翌9日、宣誓式が執り行われた。

●6月17日、ロウレンソ大統領は新国際空港を視察。視察後の会見において、当初の予定の本年12月よりも前倒しで開港し得るとの見込みを示した。

【外交】

●6月3日、ルアンダ市で第10回ICGLR首脳会合が開催され、コンゴ(民)東部情勢やスーダン情勢について議論が行われた。

●6月5～6日、アントニオ・コスタ・ポルトガル首相がアンゴラを訪問。同国企業が抱えるアンゴラ政府による債務回収につき協議したほか、13の法的文書に署名。

【経済】

●6月12日、米EXIM BANKは、米企業によるアンゴラにおける太陽光発電所建設プロジェクトのため、9億米ドルの直接融資を承認。

●石油価格の下落及びアンゴラ政府の対外債務の返済義務等により、クワンザの価値が急激に下落。

* 本月報は当地主要紙 Jornal de Angola 紙を中心に、月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです。

内政

1. 燃料補助金の段階的撤廃の施行

6月1日、アンゴラ政府は燃料補助金の段階的撤廃を決定。右決定を受け、6月2日よりガソリン価格が160Kz/Lから300Kz/Lに上昇。なお、ディーゼル燃料や調理用ガス、照明用オイル等は補助金撤廃の対象外であるほか、タクシー・バイクタクシー運転手、公共交通機関、工業・農業・漁業

関係者については、政府より配布されるプリペイド式給油補助カードを通じて、施行前と同額にて燃料購入が可能。補助金の段階的撤廃により削減された財源は教育、保健、社会保障等の優先度の高い基礎的分野に振り替えられる見込み。

2. 大統領府経済調整担当大臣の交代

6月8日、アンゴラ政府はマヌエル・ジョゼ・ヌネス・ジュニオル大統領府経済調整担当大臣を解任

し、後任としてジョゼ・デ・リマ・マサーノ中央銀行
総裁を任命。これに伴い、6月19日、中央銀行の
新総裁にマヌエル・アントニオ・ティアゴ・ディアス
前副総裁が任命された。

3. ガソリン価格の上昇に対する全国規模の抗議 デモの発生

6月17日、燃料補助金の段階的撤廃に伴う抗議
デモが国内各地で発生。国家警察によると、ルア
ンダ州及びベンゲラ州の一部では暴力を伴うデモ
となり、治安部隊は催涙弾や威嚇射撃を用いてデ
モ隊を解散。多くのデモ参加者が逮捕されたほか、
負傷者が多数発生した。

4. ロウレンソ大統領によるルアンダ新国際空港 建設工事現場の視察

6月17日、ロウレンソ大統領はルアンダ州イコロ
イ・ベンゴ市ボンジェズス地区に建設中のルアン
ダ新国際空港を視察。視察後の会見において、工
事は順調に進んでおり、当初の予定である本年
12月よりも前倒して開港する可能性があるとの見
込みを示した。

外交

1. 第10回大湖地域国際会議(ICGLR)首脳会合 の開催

6月3日、ルアンダ市で第10回ICGLR首脳会
合が開催。チセケディ・コンゴ(民)大統領やトゥア
デラ中央アフリカ共和国大統領をはじめ12か国の
代表に加えて、ファキ AU 議長や夏煌・大湖地域
担当国連事務総長特使等が出席し、コンゴ(民)
東部情勢やスーダン情勢につき議論が行われ、
会議後にはコミュニケが発出された。

2. ポルトガル首相によるアンゴラ訪問

6月5~6日、アントニオ・コスタ・ポルトガル首相
がアンゴラを訪問。ポルトガル企業が抱えるアン
ゴラ政府による債務回収につき協議を行ったほか、
アンゴラに対するクレジットラインを15億ユーロか

ら20億ユーロに拡大すること等を盛り込んだ「ポ
ルトガル・アンゴラ協力戦略プログラム 2023-2027」
を含む13の法的文書に署名した。

3. 当地露大使によるアントニオ外務大臣表敬

6月8日、ウラジミール・タラトフ駐アンゴラ露大使
はテテ・アントニオ外務大臣を表敬。二国間の経
済協力に関する政府間合同委員会の実施をはじめ
二国間の政治対話の活性化につき協議したほか、
本年7月にサンクト・ペテルスブルクで開催予
定のロシア・アフリカサミット、及び8月末に南ア
・ダーバンでの開催が予定されるBRICSサミットに
向けた準備等につき議論がなされた。

4. 当地中国大使によるロペス外務副大臣表敬

6月9日、ゴン・タオ駐アンゴラ中国大使は、ヴィ
エイラ・ロペス外務副大臣を表敬し、6月29日~7
月2日に湖南省で開催予定の第3回アフリカ中国
経済貿易博覧会への準備や、農業・漁業分野に
おける二国間協力協定の署名に向けた調整につ
き協議が行われた。

5. ロウレンソ大統領による「ロシアの日」祝賀メ ッセージ

6月12日、大統領府公式フェイスブックは、ロウ
レンソ大統領からプーチン大統領に向けた「ロシア
の日」祝賀メッセージを掲載。メッセージには、アン
ゴラはロシアとの歴史的な友好関係を非常に重視
しており、多岐に亘る協力関係を引き続き発展さ
せていきたい旨の言及があった。

6. ロビト回廊に関する運輸大臣と欧米諸国大使 による会合

6月15日、デ・アブレウ運輸大臣は、米国、スイ
ス、ポルトガル及びベルギーの当地駐箚大使と面
会し、地域の経済発展におけるロビト回廊の戦略
的重要性について確認した。ロビト回廊の開発・
運営・維持については、2022年11月に上記欧米
諸国の企業によるコンソーシアムとの30年間のコ

ンセッション契約が結ばれており、仮に同コンソーシアムがモシコ州-ジンベ(ザンビア)間の鉄道支線も建設することとなれば同契約は50年まで延長が可能となっている。

経済

1. クワンザ・ノルテ州における新たな鉱床の発見

6月7日、鉱物資源・石油・ガス省は、クワンザ・ノルテ州カンバンベ市でダイヤモンド、アルミニウム、鉛、銅を含む22の鉱床が新たに発見された旨を発表。アンゴラ政府は「国家地質計画」の具体化に向けて、まずは鉱物資源マッピングを行い、その上で採掘権の譲渡を行う予定。

2. EXIM BANK による太陽光発電所の建設プロジェクトに対する9億米ドルの直接融資承認

6月12日、米 EXIM BANK は、エネルギー・水省に対する9億米ドルの直接融資を承認し、同国において2つの太陽光発電所の建設するプロジェクトを支援する旨を発表。同プロジェクトは米企業 Africa Global Schaffer 社とサン・アフリカ社が共同で実施し、計500MW以上の発電容量が期待される。

3. 民間投資輸出促進庁(AIPEX) による国内企業2社との民間投資協定締結

6月13日、AIPEX は国内企業2社(Naval Indústria 社、Fuzkudia 社)との間で、計2億1,300万ドル規模の2つの民間投資協定に署名。レロ・フランシスコ AIPEX 長官によれば、同協定により麺類、小麦粉、トウモロコシ粉、食用油、石鹼、クッキー、ビスケット、段ボールの生産工場が建設され、アンゴラの国内生産能力向上に加え、アンゴラ国民に対し、1,300の雇用創出が期待される。

4. 第3回アンゴラ IT コミュニケーション国際フォーラム(ANGOTIC)の開催

6月12~14日にかけて、ルアンダ市タラトナ・コンベンション・センターにて、第3回 ANGOTIC が開催された。150以上の企業が参加し、IT コミュニケーション分野における講演・ディベート等が行われた。開会式にはロウレンソ大統領が出席。

5. クワンザの急激な下落

石油価格の下落及びアンゴラ政府の対外債務の返済義務等により、クワンザの価値が急激に下落。アンゴラ中央銀行における米ドル及びユーロの平均為替レートは、5月11日から6月26日にかけて1ドルあたり507.7Kz から800.6Kz、1ユーロあたり553.8Kz から872.5Kz まで推移。

6. 世銀との3億ドル規模の協定締結

6月26日、アンゴラ政府は世銀との間で、経済多角化及び雇用創出に関するプロジェクトの加速化のための3億ドル規模の融資に関する協定に署名。当地を訪問したクワクワ世銀アフリカ地域副総裁によれば、同プロジェクトはアンゴラ政府による規制・制度面の整備支援を通じて、12,000社の企業のビジネス環境改善に資するもので、同プロジェクトにより非石油セクターへの民間投資4億ドルを呼び込み、雇用創出に寄与することが見込まれているほか、同プロジェクトを通じ、ロビト回廊に対する1億ドルの官民連携投資の投資を促進することを目的としている。

(了)